

クラス	教養・社会探究	担当教員	赤石憲昭 小坂啓史 齋藤一晴 三宅裕一郎 松本 太
テーマ	人と社会の関わりを多面的に探究する		
著書・論文 研究課題等	<p>各教員の専門分野は学科の HP から確認できます。刊行した著作や発表した論文などを参考にして下さい。各教員が講義で扱っている内容がそのまま専門分野というわけでは必ずしもありません。各教員が最も専門とする研究テーマや調査フィールドなどを確認して下さい。</p> <p>各教員が担当したゼミの卒業生が、どのようなテーマで卒業研究を作成したのか確認して下さい。学部の HP を開くと、「学生教職員ページ」があります。そこをクリックすると「卒業研究サマリー（学内専用公開）」という項目が出てきます。そこをクリックすると、各ゼミの卒業生が作成した卒業研究のタイトルやサマリー（要旨）を見ることができます。</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：哲学 社会学 映像 社会 歴史学 社会科教育 法学 憲法 地理学 地理教育			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>教養・社会探究グループには、二つのクラスがあります。人文・社会科学クラスは、哲学・法学・社会学をはじめとした人文・社会科学的な深く広い教養を身につけることをめざします。歴史学・地理学クラスでは、主に時間・空間的な対象について社会科学的に解釈・分析することを学びます。そして、ときにはクラスを越えて探究していきます。</p> <p>3年生時のゼミナールについては、まずはそれぞれの教員の研究分野、学生と進めていく内容について知ってもらい、実際の探究方法の具体的な説明をします。学生のみなさんが所属する教員が開くゼミは一つですが、グループ内で「移動」することが可能です。ただし、各ゼミの内容・時期によっては、継続的参加が求められる場合や、学外活動・合宿などを実施する際には、それらの終了までの参加をきちんと心掛けてください。</p> <p>4年生のゼミナールについては、3年生の終了時期までに各自4年次に所属するゼミを選択することになります。4年生では、所属ゼミの指導教員によって卒業研究の指導を受けますが、グループ内の他の教員からも指導を受けられます。むしろそうすることが、研究領域や研究地域・対象を越境したオリジナリティーある研究テーマを深めることが可能になります。したがって本グループは、あえて卒業後の進路に関連させていえば、「中学校教諭（社会）」の免許取得を希望する学生だけでなく「小学校教諭」や「特別支援学校教諭」、公務員や NGO・NPO 職員、一般企業をめざす学生など、さまざまな将来像をもつ学生の「学びの公共圏」にしていきます。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>赤石憲昭：「承認論」を切り口に、人間や社会を深く、かつ、多面的に捉えることを目標とします。「承認」は、SNS をめぐる問題を始め、いじめや差別の問題、親子関係や恋愛、日本政治や国際政治等々、あらゆる問題に深く関係し、教育も含め、様々な問題を考えるのに有効な武器となるでしょう。また、最近注目されている「こども哲学」（哲学対話）も取り上げ、体験しながらその手法も身に付けてもらいたいと思います。</p> <p>小坂啓史：社会学をベースに映像のもつ社会的影響やインパクトについて理解、考察していき、実際に映像作品の制作を実践します。映像・映画社会学等の文献を読み知識を培ったり、映画制作に関わっている方をお招きして現場の実際をお聞きしたりしながら社会的現実の物語化あるいは社会的構成を経験的に学ぶことを目指します。3年生夏休みに、ゼミ合宿（1泊2日）を、後期にショートムービー制作を実施する予定です。</p> <p>齋藤一晴：歴史学や社会科教育に関心がある皆さんにお勧めです。個人報告（輪読・卒論構想報告など）、班発表、国内外のフィールドワークなどを行います（国外 FW は任意）。歴史学は様々な研究領域と協働することが可能です。社会科教育は子どもたちが主体的に学ぶために何が必要なのか考えることができます。現代社会が抱える諸課題がどのように生み出され、それをいかに解決しようと試みているのか考え、実践します。</p> <p>三宅裕一郎：これまで三宅ゼミではそれぞれの学生の関心にそった法をテーマにして、それを様々な視点から自由に討論していくことを中心に学びを深めてきました。その際留意していただきたいのは、対象とする法を決して所与の前提として考えず、可能な限り様々なリサーチを行ってその妥当性を批判的に検証する姿勢です。様々な学問分野に触れながら、法の真髄を学んでみましょう。</p> <p>松本 太：地理学を主とした研究に取り組みます。ある地域の自然環境や人間活動を、野外調査や資料等により探求します。対象地域は、知多半島、愛知県、他県など色々です。地理教育に関する研究もできます。地理学の有用性は、学校教育の他にも沢山あります。高校までの地理の得意、苦手は関係ありません。高校で地理を未履修の人も歓迎です。教室内だけでなく、実際に歩いて、見て、空気を感じながら研究しましょう！</p>			